

令和6年度 学校関係者評価委員会

岩手理容美容専門学校

令和7年3月17日(月)

10:00～12:00

202 教室

会議次第

1. 校長挨拶
2. 自己評価説明
3. 意見交換

令和 6 年度 学校関係者評価委員会

出席者名簿

氏 名	所 属
志田藤 光徳	株式会社 ラテン美容室
阿部 孝博	エレファントノーズ
佐々木 太一	カルバリ
傳野 友己	ビューアズデンノ

令和6年度

学校関係者評価書

岩手理容美容専門学校
学校関係者評価委員会

全体評価

理容美容業界人としての在り方やマナーを身につけることに主眼をおき、内部教員と外部講師による適切な指導を積み重ねた結果、一定の成果が定着し学校全体として落ち着いた環境である。来年度も更に質が上がることを期待する。

美容科の入学者数が大きく伸びたことは誠に喜ばしい。教職員一丸となった広報活動の賜物である。

業界への憧れ、自分の目標を見失わないための授業研究が課題であるが、「教育課程編成委員会」の意見を取り入れ、職業実践専門課程に相応しいカリキュラム編成の研究を進めて欲しい。

また、国家試験で不合格になった者に対して学校からの積極的なアプローチは昨年の課題であったが、令和4年度の迅速な対応は高評価である。

項目別評価

(1) 教育理念、教育目標

教育理念、教育目標ともに明文化され整備されている。ホームページでの情報公開も出来ている。学校案内の対応を望む。

(2) 学校運営

概ね良好である。ホームページでの情報公開など好印象である。

(3) 教育活動

現時点では良好であると判断する。「教育課程編成委員会」により外部の意見を取り込み、実践的な教育を目指し、カリキュラムへの反映を期待する。

(4) 学修成果

理容師美容師国家資格以外のエステ、メイク、ネイルなどたくさんの民間資格が取得できるカリキュラムにも好感が持てる。同窓会活動やサロンとのネットワークを利用し、卒業後のキャリア形成の案内を期待する。

(5) 学生支援

昨年度も奨学金を利用している比率が高いようだ。特に今年度は遠隔地からの入学生が数名いるようなので、生活面も含めて指導が必要である。

(6) 教育環境

防災マニュアルの作成を急いでほしい。

(7)学生の受入れ募集

少子化や大学全入学、経済状況の悪化、業界の縮小等の問題などは多々あるが来年度もて引き続き努力してほしい。

(8)財務

財務は改善傾向にあるが、より改善すべきである。

(9)法令等の遵守

法令を遵守していると確認した。

(10)社会貢献・地域貢献

ボランティアなど身近な部分で地域清掃などの活動を考えてみてはどうか。

(11)国際交流